

地震発生時の行動

地震から身を守るポイントはいつ地震が発生してもあわてないように、日頃から地震時の備えをしておくことです。ここに示す地震時の行動を参考に、どのような行動をとるべきか、覚えておきましょう。

地震発生 身の安全を確保!

緊急地震速報!



寝ていたら



布団や枕で頭を守り、家具が倒れてこないところに身を伏せましょう。

テレビを見ていたら



重い家具の近く、電灯の真下等から離れましょう。

仕事・授業中なら



本棚やロッカーが倒れたり、窓ガラスが割れたりするので注意しましょう。

電車に乗っていたら



吊革や手すりにつかまり、体が放り出されないようにしましょう。

車の運転中なら



道路の左に寄せて止め、ドアはロックせずにキーを差したまま避難しましょう。

買い物中なら



買い物カゴや鞆で頭を守り、店員の指示に従いましょう。

ビルの近くにいたら



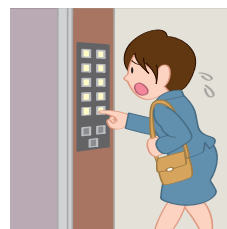
ガラスの破片、看板等に注意しながら近くの安全な場所に避難しましょう。

住宅地を歩いていたら



ブロック塀・門柱の転倒、ガラス・瓦の落下、切れた電線に注意しましょう。

エレベーターの中にいたら



すべての階のボタンを押し、動かないなら非常用連絡ボタンを押しましょう。

1分～2分

火の元・家族の安全を確認

揺れがおさまったら家族で声を掛け合い、お互いの安全確認!

火の元の確認・初期消火



靴を履く
(ガラスの破片等から足を守ります)



出口を確保



非常持出品の用意を!
ガスの元栓・電気のブレーカーを切る!



3分～10分

正しい情報を得る

大きな地震の後には、引き続き揺れが発生する可能性があります!

テレビ・ラジオ等で正しい情報を確認!



テレビ・ラジオ

NHK等のデータ放送や、ラジオ各局で地域の災害情報が流れます。

防災行政無線・広報車

防災行政無線や広報車等で緊急情報をお知らせします。

緊急速報メール

避難勧告発令等緊急度の高い情報を、市内に存在する携帯電話に一齐送信します。

たつの防災防犯ネット

あらかじめ登録をした携帯電話やパソコンへ、緊急情報等の内容を配信します。



10分～数時間

状況に応じて冷静に対応

家屋倒壊の危険等があれば、避難!

隣、近所の安否確認



各町内会、自治会で安否確認を



地域ぐるみで協力し合って救急、救護、初期消火



余震に注意

「地震がおさまったからもう大丈夫!」と安心せずに、二次災害に備えることが大切です。また、大地震の後は数カ月間、強い余震が起こることもありますので油断せずに行動しましょう。

